

# データヘルス計画

## 第2期計画書 中間見直し

---

最終更新日：令和3年03月30日

日本NCR健康保険組合

# STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	23848
組合名称	日本NCR健康保険組合
形態	単一
業種	情報通信業

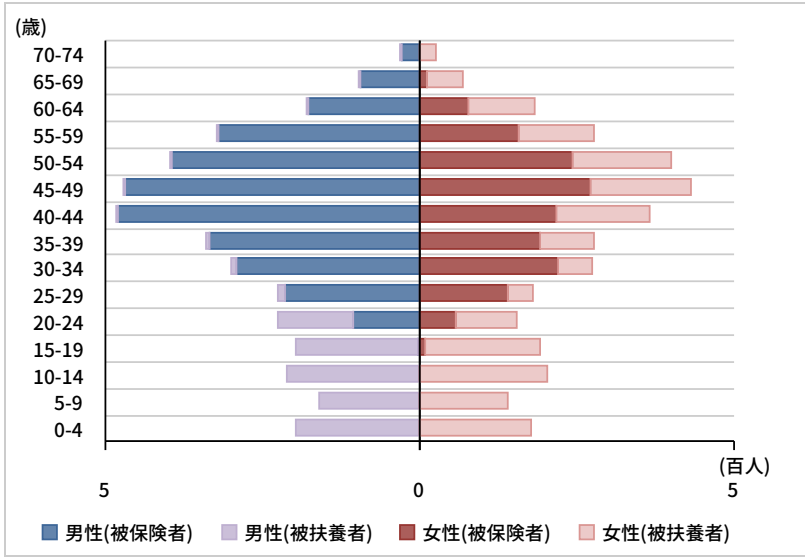
	令和3年度見込み	令和4年度見込み	令和5年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	4,500名 男性64.6% (平均年齢44.4歳) * 女性35.4% (平均年齢42.6歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	7,180名	-名	-名
適用事業所数	13カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	142カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	8.900‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和3年度見込み		令和4年度見込み		令和5年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	2	-	-	-	-
	保健師等	2	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	7	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

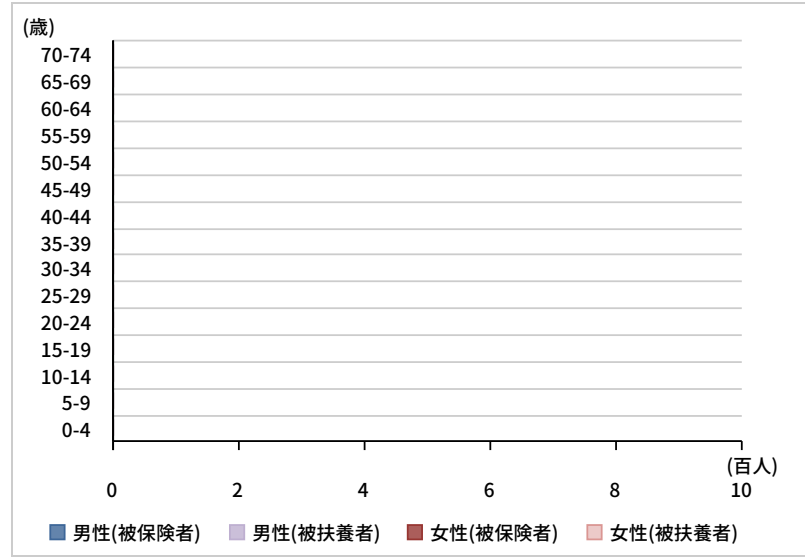
		第2期における基礎数値 (平成28年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	2,277 / 2,931 = 77.7 %	
	被保険者	1,936 / 2,155 = 89.8 %	
	被扶養者	341 / 776 = 43.9 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	150 / 442 = 33.9 %	
	被保険者	150 / 442 = 33.9 %	
	被扶養者	0 / 0 = - %	

		令和3年度見込み		令和4年度見込み		令和5年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	70,583	15,685	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	6,353	1,412	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	9,136	2,030	-	-	-	-
	疾病予防費	56,470	12,549	-	-	-	-
	体育奨励費	1	0	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	4	1	-	-	-	-
	小計 …a	142,547	31,677	0	-	0	-
経常支出合計 …b	2,309,953	513,323	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	6.17		-	-	-	-	

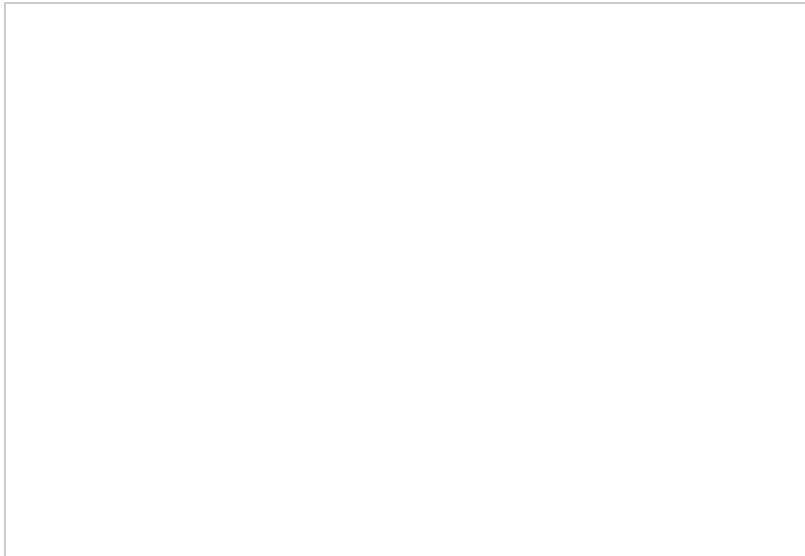
令和3年度見込み



令和4年度見込み



令和5年度見込み



## 男性（被保険者）

令和3年度見込み				令和4年度見込み				令和5年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	3人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	107人	25～29	214人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	291人	35～39	334人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	479人	45～49	469人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	393人	55～59	321人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	177人	65～69	93人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	28人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被保険者）

令和3年度見込み				令和4年度見込み				令和5年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	8人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	58人	25～29	139人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	219人	35～39	190人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	217人	45～49	272人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	242人	55～59	158人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	78人	65～69	10人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

## 男性（被扶養者）

令和3年度見込み				令和4年度見込み				令和5年度見込み			
0～4	196人	5～9	159人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	211人	15～19	193人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	120人	25～29	11人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	10人	35～39	7人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	4人	45～49	2人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	3人	55～59	2人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	2人	65～69	2人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	4人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被扶養者）

令和3年度見込み				令和4年度見込み				令和5年度見込み			
0～4	177人	5～9	141人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	204人	15～19	184人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	96人	25～29	40人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	54人	35～39	85人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	148人	45～49	159人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	156人	55～59	120人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	107人	65～69	56人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	27人			70～74	-人			70～74	-人		

### 基本情報から見える特徴

- 【1】 日本N C R健康保険組合は、被保険者数4,140名、被扶養者数2,857名で、13事業所が加入している単一健保である。
- 【2】 事業主の拠点が全国にあり、加入者も点在している。
- 【3】 被保険者は30歳代後半から50歳代前半に加入者構成に偏りがある。
- 【4】 被保険者の20歳前半の構成比率が低い。

## STEP 1-2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

- 【1】 生活習慣病のリスク保有者への対策は、「特定保健指導」と「医療専門職」による施策がある。「医療専門職」による施策は保健指導、栄養指導、健康相談を年齢にかかわらず実施、新人に対する健康教育も実施している。
- 【2】 機関紙は発行せず、電子メールとWEBの組み合わせで情報を提供している。又、事業によってはダイレクトメールを送付する。
- 【3】 平成19年度に「健康管理推進委員会」を立ち上げ、健保と事業主の連携を図っている。又、平成26年度からコラボヘルスを見据えた「健康診断後のフォローに関する検討会」を立ち上げた。今後は「コラボヘルス」として事業主単位での運用も検討している。

### 事業の一覧

職場環境の整備	
疾病予防	健康管理推進委員会
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	情報提供電子メールの発信
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	後発医薬品使用促進
保健指導宣伝	こころとからだの健康相談（電話、面談）
疾病予防	婦人科検診
疾病予防	健康相談
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金支給
疾病予防	インフルエンザ予防接種集団接種
疾病予防	家庭常備薬斡旋
疾病予防	39歳以下健康診断
疾病予防	健康診断後のフォローに関する説明会
疾病予防	歯科健診
事業主の取組	
1	疾病予防

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
疾病予防	1,3	健康管理推進委員会	【目的】 年数回、事業主の人事、総務担当者と共に、健康診断などの保健事業に関するテーマで情報の共有を図る。 【概要】 健保と事業主の連携を目的に様々な議論を行う。今後はコラボヘルスの役目も果たす。	被保険者	全て	男女	18～74	全員	0	【平成29年度】 (平成30年3月23日開催) ①健保現状 ②健診結果 ③データヘルス計画 ④平成30年度運営 等	事業主との情報共有。	事業主側の発言不足。	4
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	2	情報提供電子メールの発信	【目的】 健保情報の提供。健康意識の向上。 【概要】 電子メール（公告、健保運営、収支、健康診断、その他の情報）の発信	被保険者	全て	男女	18～74	全員	130	【平成29年度】 20回発信（公告、けんぽニュース、健康診断、その他保健事業）	ほぼ全員の被保険者が電子メールでの受け取りが可能。	無し	5
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健診（被保険者）	【目的】 加入者の健康維持。特定健診の受診率向上。 【概要】 事業主が行う定期健診と併せて共同実施。メタボリックシンドロームに注目した健康状況の把握及びリスク者のスクリーニング。	被保険者	全て	男女	40～74	全員	37,381	【平成29年度】 受診者数 社員： 2,018名 任継： 51名	・ 集団健診実施による受診機会提供と勤務時間中の受診実現。 ・ 一部申込のWEB対応に伴う利便性。（健診予約システム） ・ 巡回レディース健診にて女性への多様な受診機会の提供。 ・ 電子メールによる受診勧奨。	・ 未受診者の存在。 ・ 一部事業主の受診勧奨不足。	3
	3	特定健診（被扶養者）	【目的】 加入者の健康維持。特定健診の受診率向上。 【概要】 メタボリックシンドロームに注目した健康状況の把握及びリスク者のスクリーニング。	被扶養者	全て	男女	40～74	全員	7,965	【平成29年度】 受診者数 配偶者： 404名	巡回レディース健診・契約医療機関での受診等、多様な受診機会の提供。	・ 受診数の低さ。 ・ 受診勧奨不足。	4
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】 生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善。特定保健指導の実施率向上。 【概要】 メタボリックシンドロームの減少を目的に保健指導を実施。被保険者については、対象者名簿を事業主に渡し、事業主の協力を得ながら実施。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	3,413	【平成29年度】 保健指導対象者： 494名（対象率20.0%） 保健指導実施者 当年度開始者： 177名 (実施率 35.8%) 前年度開始且つ当年度終了者：84名	・ 専門職員による実施及び委託先拡大に伴う実施体制の整備。 ・ 参加申込方法の簡便化と追加。（QRコード導入による電子メール申込、専用サイトへの誘導と当該サイトでの参加申込「メタボWeb」） ・ 無反応対象者への参加勧奨。	・ 対象者との面談取り付け。 ・ 対象者の面談キャンセル。	4
保健指導宣伝	8	後発医薬品使用促進	【目的】 服用している医薬品と後発医薬品との差額等の情報提供による医療費削減。 【概要】 差額等の情報を年に数回封書で通知。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	基準該当者	598	【平成29年度】 平成29年7月と平成30年3月にレセプトから利用者を割り出し、後発医薬品情報をダイレクト・メールで送付。利用者の割り出しは委託している。	個々の受診内容に即した情報提供。	-	5
	6	こころとからだの健康相談（電話、面談）	【目的】 病気早期発見・早期治療促進、悩み解決。 【概要】 年中無休24時間体制で健康相談、メンタル相談を実施。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	1,640	【平成29年度】 ①メンタルヘルス電話：10件、②メンタルヘルス面接：16件、③健康相談電話：107件	・ プライバシーが保護され、いつでも相談可能という安心感。 ・ 健康相談に関する情報提供。	周知不足。	4
疾病予防	3	婦人科検診	【目的】 婦人科疾患の早期発見・早期治療。 【概要】 女性の健康課題に対応する目的で、乳がん検診、子宮がん検診を希望者に実施。	被保険者 被扶養者	全て	女性	18～74	全員	7,863	【平成29年度】 社員： 649名 配偶者：411名 任継： 4名 計： 1,064名	巡回レディース健診・契約医療機関での受診等、多様な受診機会の提供。	受診勧奨不足。	4
	6	健康相談	【目的】 新入社員と特定保健指導対象外の者に対する疾病予防教育。 【概要】 医療専門職員により、健康相談、栄養指導、保健指導を実施。	被保険者	全て	男女	18～74	基準該当者	629	【平成29年度】 356名	・ 健康診断の結果から、年齢にかかわらず高リスク者を抽出し、積極的に指導。 ・ 新人研修時に栄養指導の場を設け、若い時からの指導を徹底。	健康維持管理意識の非継続。	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3,8	インフルエンザ予防接種補助金支給	【目的】 インフルエンザ患者の減少。 患者の重症化の予防。 【概要】 被扶養者に3,000円迄、子供に5,000円迄(2回接種法)、集団接種対象外の被保険者に3,000円迄の補助金を支給。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	3,770	【平成29年度】 被保険者： 267名 被扶養者： 352名 子供： 475名 計： 1,094名	・周知の徹底。 ・補助額。	ワクチン供給不足。	4
	3,8	インフルエンザ予防接種集団接種	【目的】 インフルエンザ患者の減少。患者の重症化の予防。 【概要】 関東地区では被保険者を対象に職場で集団接種を実施。自己負担なし。	被保険者	全て	男女	18 ～ 74	全員	5,688	【平成29年度】 職場による集団接種： 1,082名 指定医院による接種： 296名 計： 1,378名	職場、近隣の指定医院で接種できる利便性。	未接種者への情報提供不足。	4
	3,8	家庭常備薬斡旋	【目的】 家庭常備薬の充実による疾病の自己管理の向上。 【概要】 年数回、WEBによる斡旋を行う。全額自己負担。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	0	【平成29年度】 斡旋のみ： 全額自己負担 7月、11月実施： 69名	組合員限定のWEBサイト。	周知不足。	4
	3	39歳以下健康診断	【目的】 加入者の健康維持。 【概要】 事業主が行う定期健診と併せて共同実施。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 39	全員	16,946	【平成29年度】 社員： 1,314名 配偶者： 93名 任継： 4名 計： 1,411名	・集団健診実施による受診機会提供と勤務時間中の受診実現 ・一部申込のWEB対応に伴う利便性。 (健診予約システム) ・巡回レディース健診にて女性への多様な受診機会の提供。 ・事業主による受診勧奨。 ・電子メールによる受診勧奨。	・被保険者の受診数低下。 ・一部事業主の受診勧奨不足。 ・被扶養者受診数の低さ。	3
	4	健康診断後のフォローに関する説明会	【目的】 健康診断の受診率、健康診断後の再検査受診率の向上。特定保健指導の参加勧奨。 【概要】 健保と事業主で情報を共有して、健診の受診勧奨、再検査受診勧奨、特定保健指導の参加勧奨を行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	0	【平成29年度】 平成29年秋に各事業主と実施	-	-	-
	3	歯科健診	【目的】 う歯、歯周病等の早期発見・早期治療 【概要】 加入者全員を対象とした無料健診。歯科健診センターと契約。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	93	【平成29年度】 受診者： 11名	無料での受診。	周知不足。	3

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他


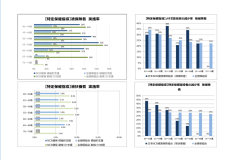


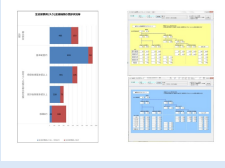

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

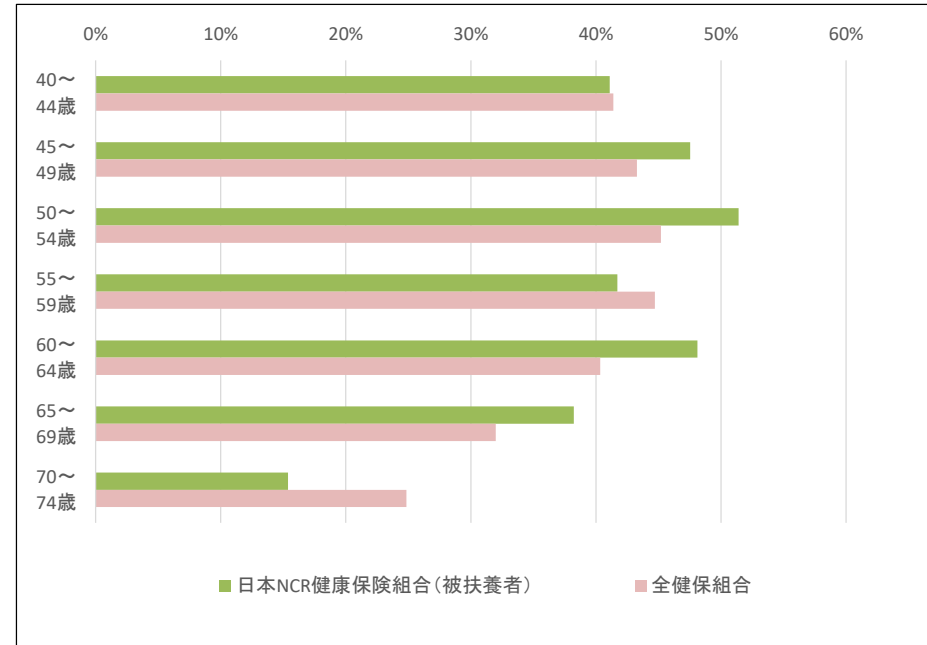
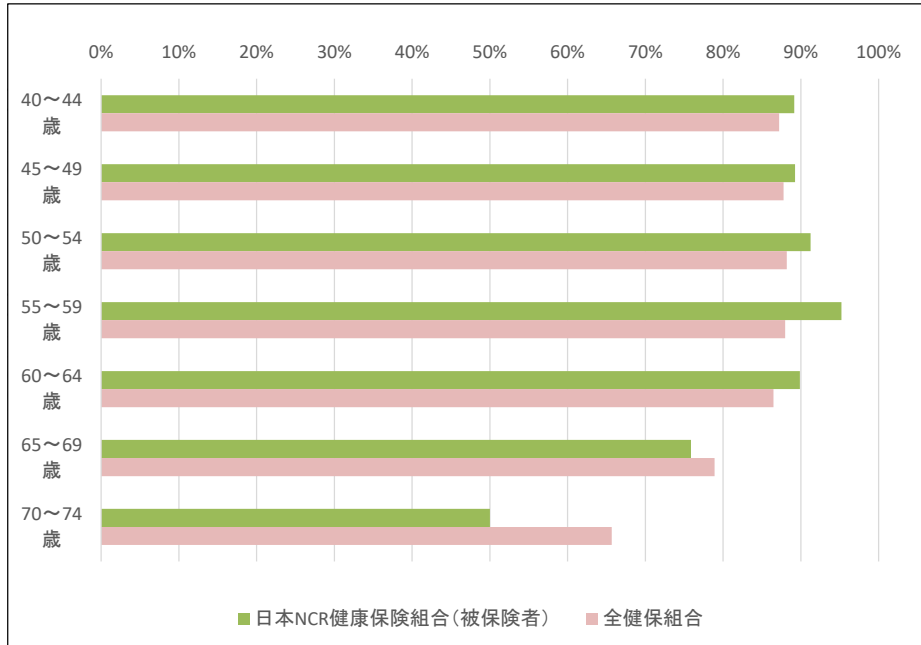
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
疾病予防	-	-	-	~	-	-	-	-



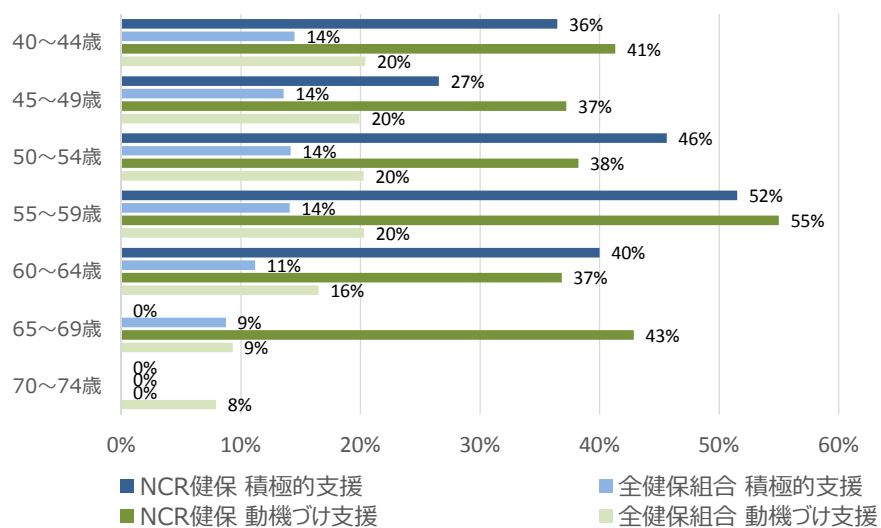
## STEP 1-3 基本分析

### 登録済みファイル一覧

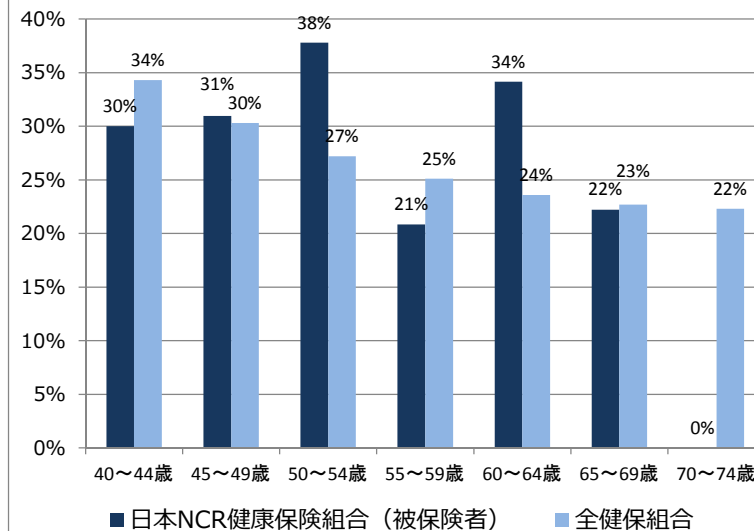
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		【特定健診】	特定健診分析	-
イ		【特定保健指導】	特定保健指導分析	-
ウ		【一人当たりの医療費】	医療費・患者数分析	-
エ		【健康分布図】	健康リスク分析	-
オ		【生活習慣病リスクと医療機関の受診状況等】	健康リスク分析	-
カ		【後発医薬品の使用状況】	後発医薬品分析	-



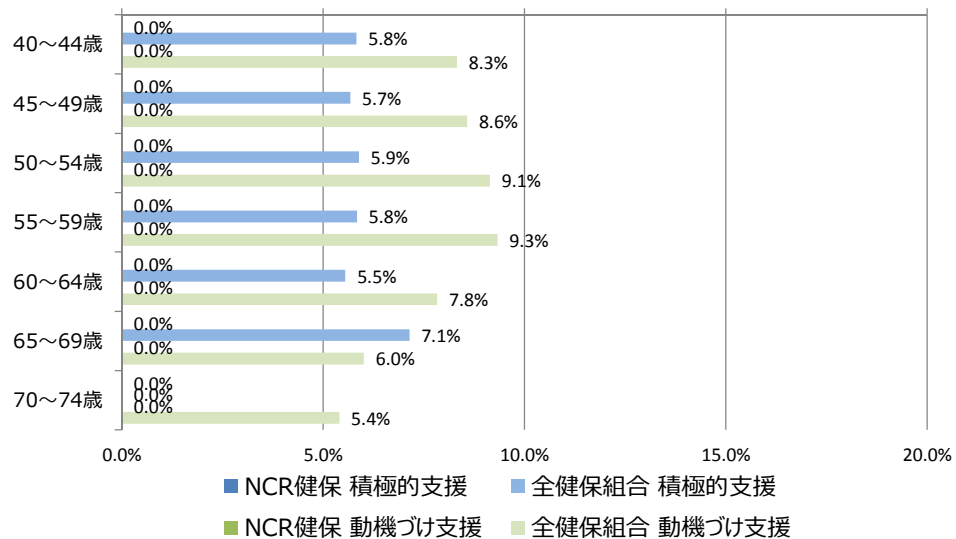
【特定保健指導】被保険者 実施率



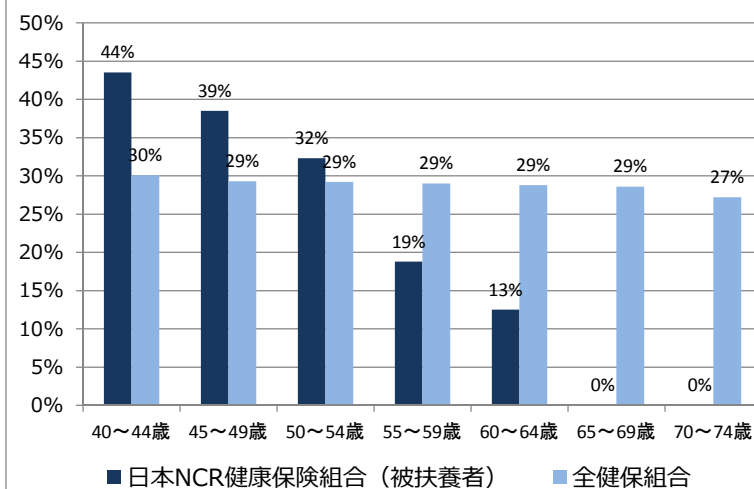
【特定保健指導】メタボ該当率の減少率 被保険者



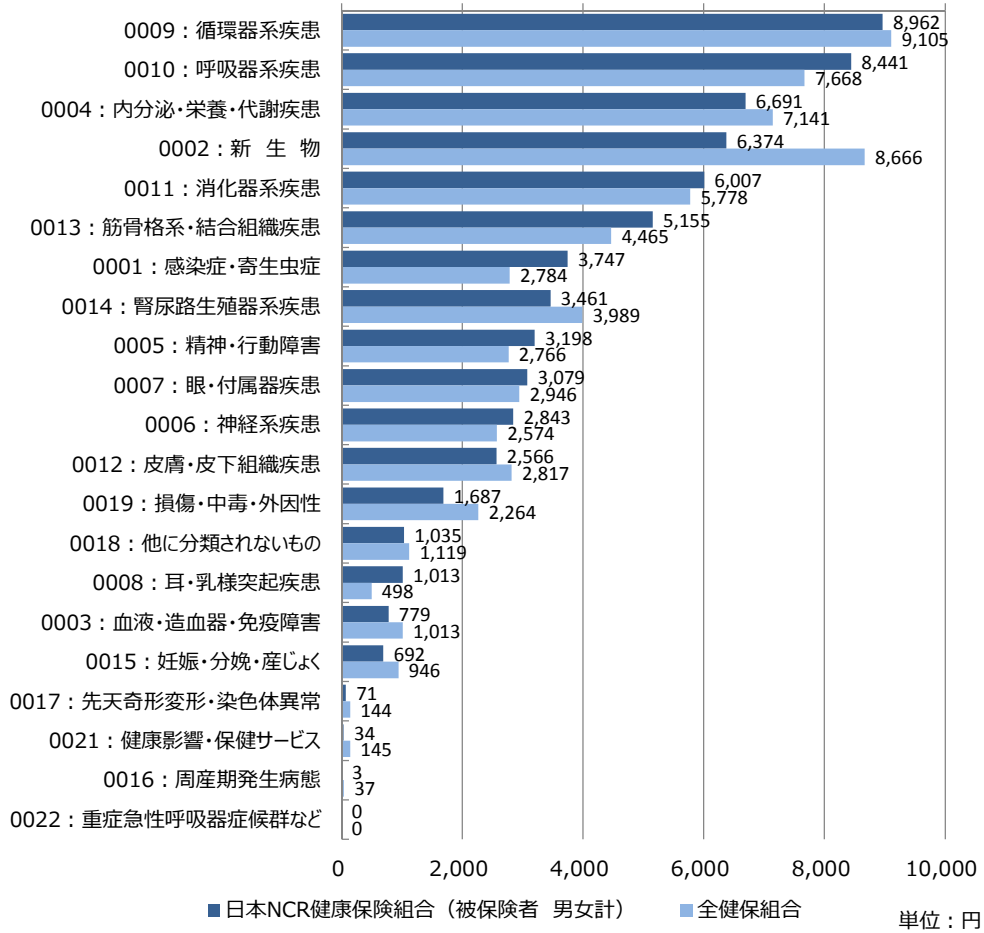
【特定保健指導】被扶養者 実施率



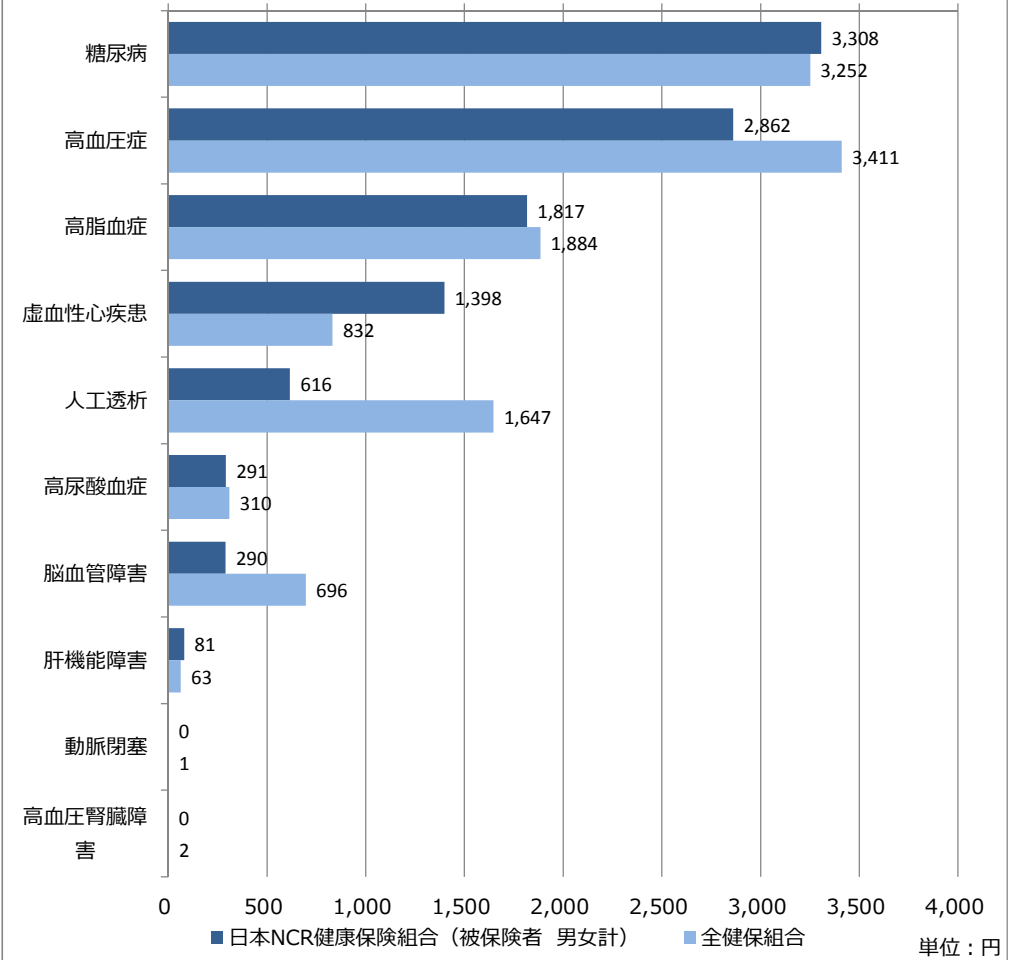
【特定保健指導】特定保健指導者の減少率 被保険者



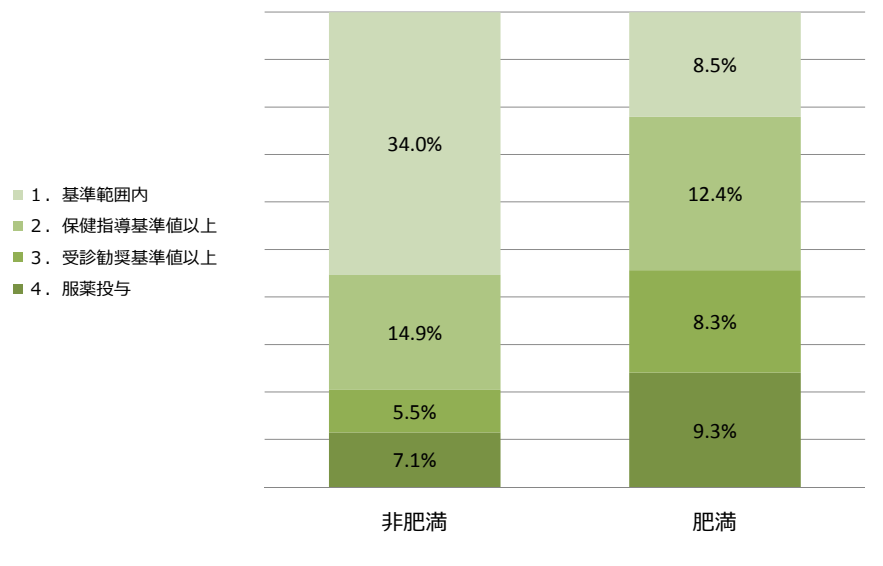
【1人当たりの医療費】傷病大分類 被保険者



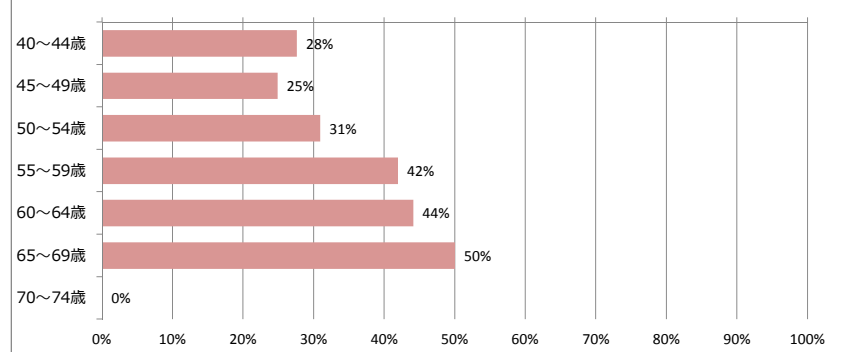
【1人当たりの医療費】生活習慣病 被保険者



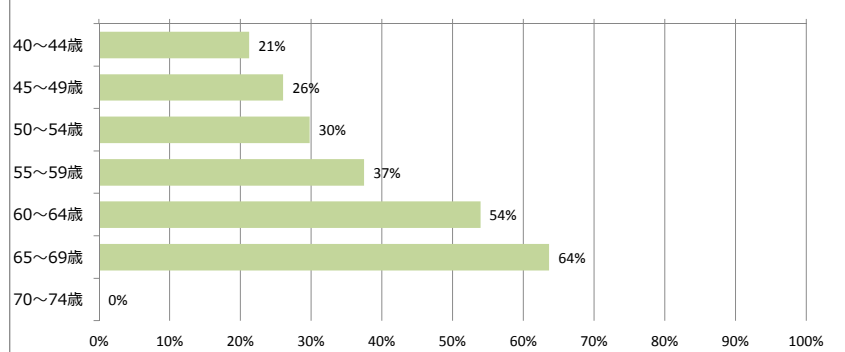
【健康分布図】NCR健保・被保険者



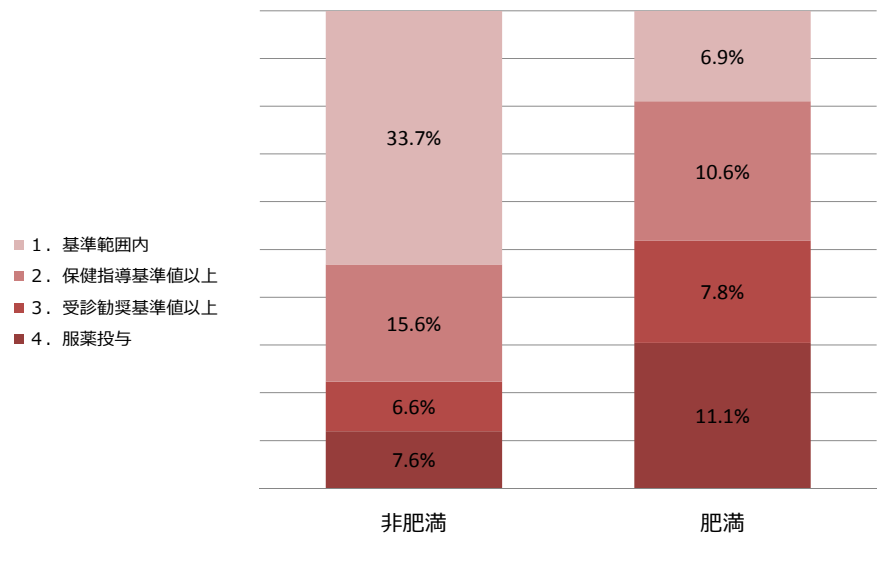
【健康分布図】血圧値が保健指導以上 被保険者



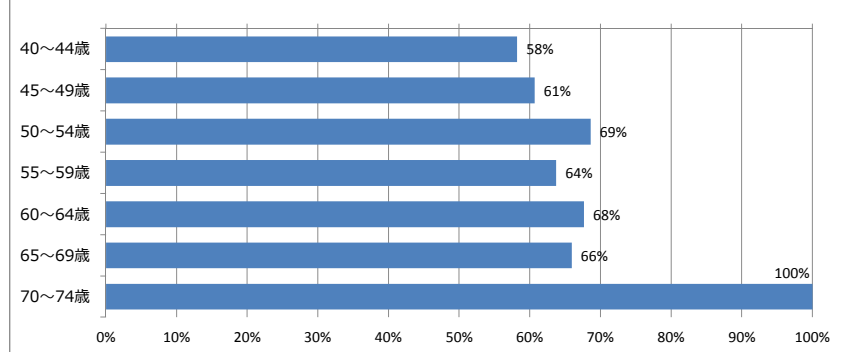
【健康分布図】血糖値が保健指導以上

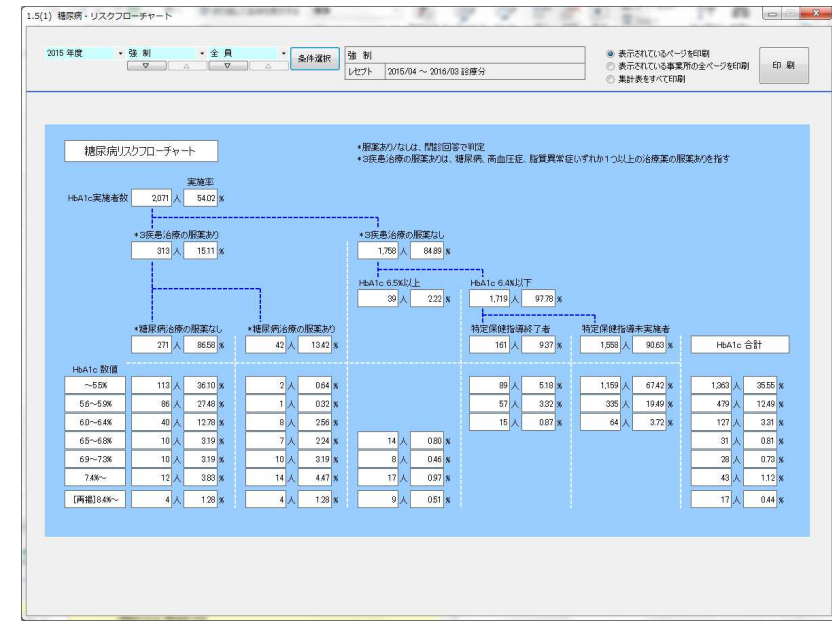
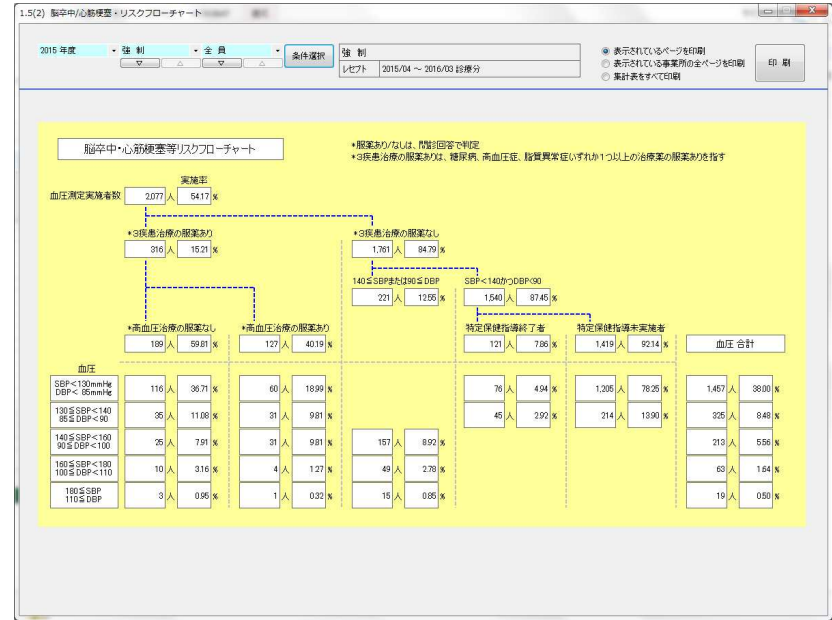
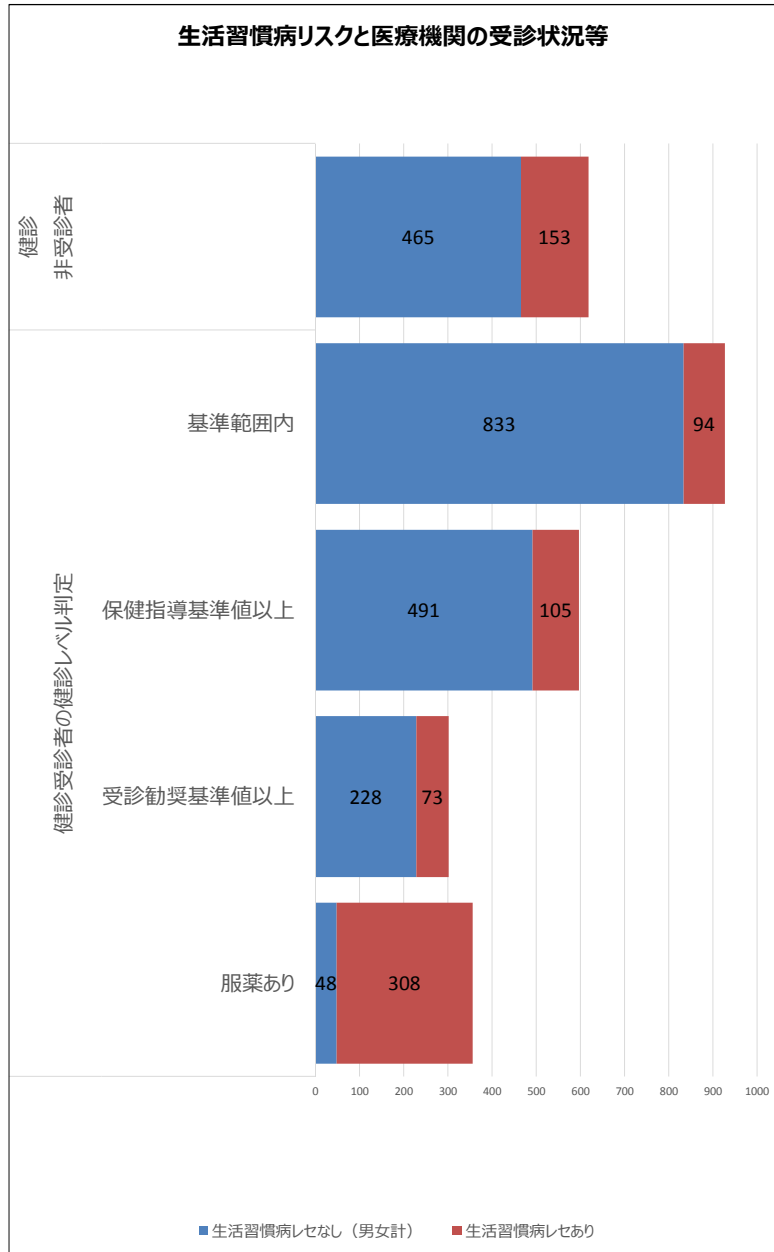


【健康分布図】全組合・被保険者

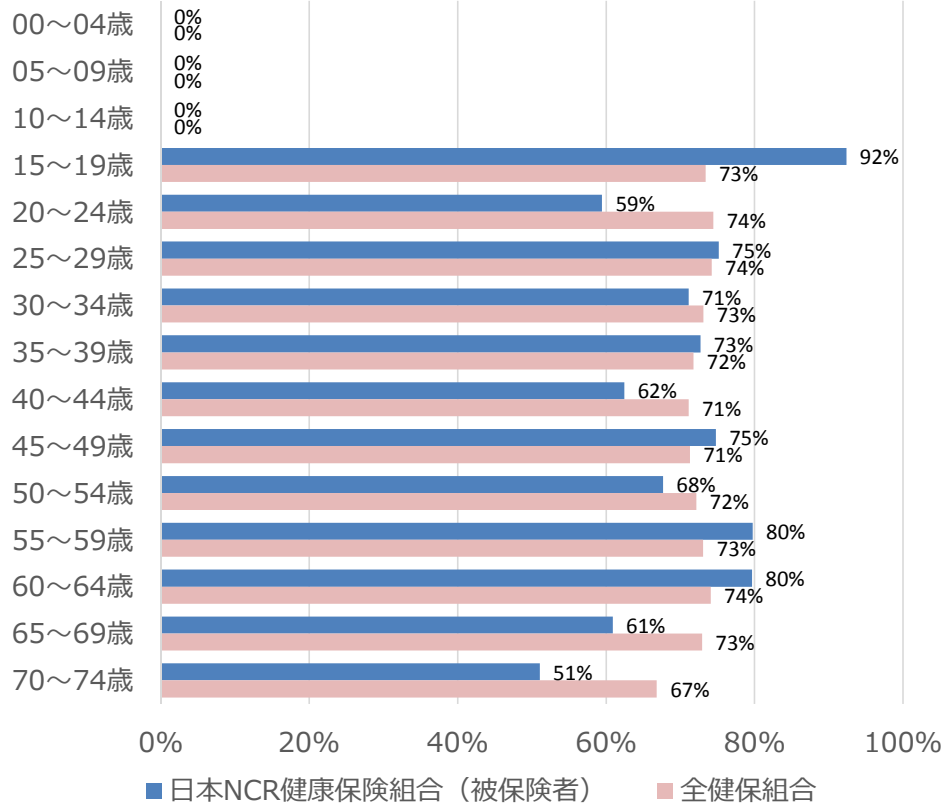


【健康分布図】脂質が保健指導以上

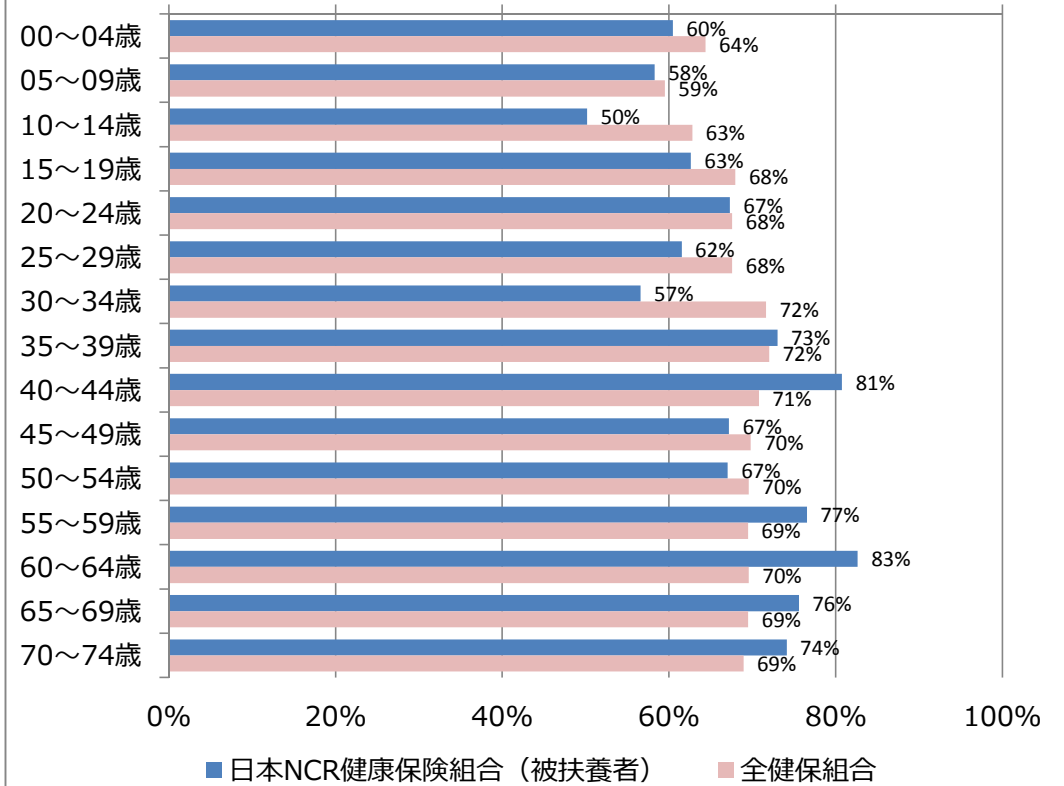




### 【後発医薬品の使用状況】被保険者



### 【後発医薬品の使用状況】被扶養者



## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>他健保よりも受診率が高いが被保険者・被扶養者の受診率の底上げを図る。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診勧奨により向上を図る</li> <li>受診率アップのため、インセンティブを実施する。</li> </ul>	✓
2	イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>40～49歳の参加率が低い。</li> <li>被扶養者の特定保健指導は実施していない。</li> <li>40～44歳、55～59歳のメタボリックシンドローム該当者の減少率が低い。</li> <li>55歳以降の特定保健指導対象者の減少率が低い。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定保健指導の勧奨方法を工夫し、受診を促進する。</li> <li>被扶養者に対して特定保健指導を実施する。</li> <li>メルマガジン、パンフレット配布などで加入者全体への健康意識の向上を図る。</li> <li>55歳以降の加入者に向け、健保と事業主で参加勧奨を強化する。【コラボヘルス】</li> </ul>	✓
3	ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>当健保での疾患は循環器、呼吸器系疾患の割合が高い。特に呼吸器疾患は他の健保より高い。</li> <li>糖尿病・高血圧・高脂血症の医療費の割合が高い。糖尿病は他の組合と比べても高い。</li> <li>直近のデータではがんの割合が低い、従来よりがんの割合が高い。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診受診に伴う早期発見、早期治療の徹底。</li> <li>呼吸器疾患対策（禁煙）に取組む。【コラボヘルス】</li> <li>再検査の受診勧奨強化。</li> <li>ジェネリック医薬品へ転換比率を高める。</li> <li>がん検診の受診率アップに取組む。</li> </ul>	✓
4	エ	<ul style="list-style-type: none"> <li>40代前半は血圧・血糖値・脂質ともに高い。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>50歳未満の健診の受診率向上。</li> <li>健保と事業主で受診勧奨を強化する。【コラボヘルス】</li> <li>40歳未満の健康相談への参加勧奨を行う。【コラボヘルス】</li> </ul>	
5	オ	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診勧奨基準値以上の者で生活習慣病に関するレセプトのない者が多数存在する。</li> <li>3疾患で内服治療を受けていない者で、血圧、血糖が受診勧奨基準値以上の者が多数確認された。内服治療中で血圧、血糖のコントロール不良者が多数見受けられる。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期治療の為の受診勧奨。</li> <li>重症化しないように産業医との連携を図り専門医への流れをつくる。</li> </ul>	
6	カ	<ul style="list-style-type: none"> <li>他健保よりも全体的にジェネリックの使用割合は高いが、国の目標値である80パーセントには達していない。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の目標値である、80パーセントに達するようにジェネリック医薬品希望カード等を配布し、ジェネリック医薬品使用の普及を図る。</li> </ul>	

## 基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業主の拠点が全国にあり、加入者も点在している。</li> <li>被保険者は30歳代後半から50歳代前半に加入者構成に偏りがある。</li> <li>被保険者の20歳前半の構成比率が低い。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国に加入者がいる為、首都圏などは集団健診等の集中的な運用を行う。地方においても、偏りのないサービスが求められる。PC環境が揃っていない一部の事業主の社員へ情報提供の仕方を工夫する必要がある。</li> <li>30歳代後半から重点的に健康診断の受診勧奨、再検査フォローを行う。</li> </ul>

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
-----	----	--	--------------



1

- 事業所ごとの受診率に差がある。
- 被扶養者の健診受診率が低い。
- 婦人科検診の受診率が低い。
- 後発医薬品への転換率は平均より高めである。



- コラボヘルスによる受診勧奨の強化。
- 配偶者への情報発信の工夫。
- 婦人科検診の受診勧奨、情報提供の強化。
- 慢性疾患患者の後発医薬品への転換率をさらに高め、情報提供の強化を行う。

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

- ・早期発見、早期治療の促進を行うことにより、医療費の減少につなげる。
- ・加入者の健康意識の向上。

### 事業全体の目標

- ・情報発信に工夫を凝らし、健診受診率を向上させる。
- ・健康相談への参加促進。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

疾病予防	健康管理推進委員会
------	-----------

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	情報提供電子メールの発信
--------	--------------

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	こころとからだの健康相談（電話、面談）
保健指導宣伝	後発医薬品使用促進
疾病予防	39歳以下健康診断
疾病予防	婦人科検診
疾病予防	歯科健診
疾病予防	健康相談
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金支給
疾病予防	インフルエンザ予防接種集団接種
疾病予防	家庭常備薬斡旋
疾病予防	コラボヘルス委員会

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
疾病予防	1	既存	健康管理推進委員会	全て	男女	18～74	被保険者	3	ケ,シ,ス	-	ア,コ	-	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回事業主の人事・総務担当者と、保健事 業に関するテーマでの情報共有を図る。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
実施数(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)年1回開催。												定量的な設定内容ではないため。 (アウトカムは設定されていません)								
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	2,3,4,5,6,7	既存	情報提供電子メールの発信	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	ス	-	年24回	年24回	年24回	年24回	年24回	年24回	・健保関連情報の発信と周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他健保よりも受診率が高いが被保険者・被扶養者の受診率の底上げを図る。</li> <li>・40～49歳の参加率が低い。</li> <li>・被扶養者の特定保健指導は実施していない。</li> <li>・40～44歳、55～59歳のメタボリックシンドローム該当者の減少率が低い。</li> <li>・55歳以降の特定保健指導対象者の減少率が低い。</li> <li>・当健保での疾患は循環器、呼吸器系疾患の割合が高い。特に呼吸器疾患は他の健保より高い。</li> <li>・糖尿病・高血圧・高脂血症の医療費の割合が高い。糖尿病は他の組合と比べても高い。</li> <li>・直近のデータではがんの割合が低い、従来よりがんの割合が高い。</li> <li>・40代前半は血圧・血糖値・脂質ともに高い。</li> <li>・受診勧奨基準値以上の者で生活習慣病に関するレセプトのない者が多数存在する。</li> <li>・3疾患で内服治療を受けていない者で、血圧、血糖が受診勧奨基準値以上の者が多数確認された。内服治療中で血圧、血糖のコントロール不良者が多数見受けられる。</li> <li>・他健保よりも全体的にジェネリックの使用割合は高いが、国の目標値である80パーセントには達していない。</li> </ul>
メール配信数(【実績値】20回 【目標値】平成30年度：24回 令和元年度：24回 令和2年度：24回 令和3年度：24回 令和4年度：24回 令和5年度：24回)全対象者への発信												定量的な設定内容ではないため。 (アウトカムは設定されていません)								
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者,任意継続者	3	ウ,ク,ケ,シ	-	ア,キ,コ,ス	-	受診案内	受診案内	受診案内	受診案内	受診案内	受診案内	・特定健診受診率の向上 ・胃がん/大腸がん検診の受診率向上	・他健保よりも受診率が高いが被保険者・被扶養者の受診率の底上げを図る。
受診案内(【実績値】5回 【目標値】平成30年度：5回 令和元年度：5回 令和2年度：6回 令和3年度：6回 令和4年度：7回 令和5年度：7回)-												特定健診実施率(【実績値】86.8% 【目標値】平成30年度：90% 令和元年度：91% 令和2年度：92% 令和3年度：92% 令和4年度：94% 令和5年度：96%)-								
3	既存(法定)	特定健診(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者,任意継続者	3	ア,ウ,ク,ケ,シ	-	ア,キ,コ,ス	-	受診案内	受診案内	受診案内	受診案内	受診案内	受診案内	・特定健診受診率の向上 ・胃がん/大腸がん検診の受診率向上	・他健保よりも受診率が高いが被保険者・被扶養者の受診率の底上げを図る。	
受診案内(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：3回 令和3年度：3回 令和4年度：4回 令和5年度：5回)-												特定健診受診率(【実績値】49% 【目標値】平成30年度：50% 令和元年度：50% 令和2年度：50% 令和3年度：54% 令和4年度：55% 令和5年度：66%)-								

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連																			
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																									
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度																		
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ウ,エ,オ,ク,コ,シ	ア,イ,ウ,キ,コ,サ			アウトプット指標					アウトカム指標					<ul style="list-style-type: none"> <li>・40～49歳の参加率が低い。</li> <li>・被扶養者の特定保健指導は実施していない。</li> <li>・40～44歳、55～59歳のメタボリックシンドローム該当者の減少率が低い。</li> <li>・55歳以降の特定保健指導対象者の減少率が低い。</li> <li>・当健保での疾患は循環器、呼吸器系疾患の割合が高い。特に呼吸器疾患は他の健保より高い。</li> <li>・糖尿病・高血圧・高脂血症の医療費の割合が高い。糖尿病は他の組合と比べても高い。</li> <li>・直近のデータではがんの割合が低い。従来よりがんの割合が高い。</li> <li>・40代前半は血圧・血糖値・脂質ともに高い。</li> <li>・受診勧奨基準値以上の者で生活習慣病に関するレセプトのない者が多数存在する。</li> <li>・3疾患で内服治療を受けていない者で、血圧、血糖が受診勧奨基準値以上の者が多数確認された。内服治療中で血圧、血糖のコントロール不良者が多数見受けられる。</li> </ul>															
													特定保健指導参加勧奨(【実績値】12回 【目標値】平成30年度：12回 令和元年度：12回 令和2年度：12回 令和3年度：12回 令和4年度：12回 令和5年度：12回)-												特定保健指導実施率の向上(【実績値】33% 【目標値】平成30年度：35% 令和元年度：40% 令和2年度：43% 令和3年度：40% 令和4年度：47.5% 令和5年度：55%)-													
保健指導宣伝	6	既存	こころからだの健康相談(電話、面談)	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	ス			加入者への実施案内					加入者への実施案内					<ul style="list-style-type: none"> <li>・加入者へ事業の周知</li> </ul>	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)														
													事業の周知案内(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)事業の周知。												定量的な設定内容ではないため。(アウトカムは設定されていません)													
													7	既存	後発医薬品使用促進	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	ス					対象者へ差額通知を送付 ・後発医薬品の希望シールを配布					対象者へ差額通知を送付 ・後発医薬品の希望シールを配布					<ul style="list-style-type: none"> <li>・後発医薬品へ切り替え時の差額通知の実施</li> <li>・後発医薬品使用量の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他健保よりも全体的にジェネリックの使用割合は高いが、国の目標値である80パーセントには達していない。</li> </ul>
差額通知実施(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)-												薬剤費の軽減(【実績値】70% 【目標値】平成30年度：71% 令和元年度：72% 令和2年度：74% 令和3年度：78% 令和4年度：79% 令和5年度：80%)薬剤費の軽減																										
後発医薬品希望シール配布(【実績値】0回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)新規資格資格取得者へ後発医薬品希望シールを配布する。																																						
疾病予防	3	既存	39歳以下健康診断	全て	男女	18～39	加入者全員	3	ア,ウ,ク,ケ,シ	ア,キ,コ,ス			受診案内					受診案内					<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診率の向上</li> <li>・胃がん/大腸がん検診の受診率向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40代前半は血圧・血糖値・脂質ともに高い。</li> </ul>														
													受診案内(【実績値】5回 【目標値】平成30年度：5回 令和元年度：5回 令和2年度：6回 令和3年度：6回 令和4年度：7回 令和5年度：7回)-												健診実施率(【実績値】81.7% 【目標値】平成30年度：82% 令和元年度：83% 令和2年度：84% 令和3年度：85% 令和4年度：86% 令和5年度：87%)-													
													3	既存	婦人科検診	全て	女性	18～74	被保険者、任意継続者	1	ア,ス	ス					受診勧奨の実施					受診勧奨の実施					<ul style="list-style-type: none"> <li>・他健保よりも受診率は高いが被保険者・被扶養者の受診率の底上げを図る。</li> </ul>	
																											受診勧奨の送付(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：3回 令和3年度：3回 令和4年度：4回 令和5年度：4回)-											
												子宮がん検診の受診率向上(【実績値】35% 【目標値】平成30年度：37% 令和元年度：38% 令和2年度：40% 令和3年度：43% 令和4年度：46% 令和5年度：50%)-																										
8	既存	歯科健診	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	ス			事業案内					事業案内					<ul style="list-style-type: none"> <li>・虫歯予防・歯周病の予防と早期治療に医療費適正化。</li> </ul>	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)															
												事業案内(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)-												歯科受診者数(【実績値】11人 【目標値】平成30年度：20人 令和元年度：30人 令和2年度：20人 令和3年度：20人 令和4年度：20人 令和5年度：20人)平成32年度より歯科検診の実施予定														

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
6	既存	健康相談	全て	男女	18～74	被保険者、任意継続者	1	オ、コ	-	ア、ウ、キ、コ	-	・健康相談の案内 ・要再検査・要精密検査対象者への受診勧奨	・健康相談の案内 ・要再検査・要精密検査対象者への受診勧奨	・健康相談の案内 ・要再検査・要精密検査対象者への受診勧奨	・健康相談の案内 ・要再検査・要精密検査対象者への受診勧奨	・健康相談の案内 ・要再検査・要精密検査対象者への受診勧奨	・健康相談の案内 ・要再検査・要精密検査対象者への受診勧奨	有リスク者及び内服者の健康改善（重症化予防）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40～49歳の参加率が低い。</li> <li>・被扶養者の特定保健指導は実施していない。</li> <li>・40～44歳、55～59歳のメタボリックシンドローム該当者の減少率が低い。</li> <li>・55歳以降の特定保健指導対象者の減少率が低い。</li> <li>・当健保での疾患は循環器、呼吸器系疾患の割合が高い。特に呼吸器疾患は他の健保より高い。</li> <li>・糖尿病・高血圧・高脂血症の医療費の割合が高い。糖尿病は他の組合と比べても高い。</li> <li>・直近のデータではがんの割合が低い、従来よりがんの割合が高い。</li> <li>・40代前半は血圧・血糖値・脂質ともに高い。</li> <li>・受診勧奨基準値以上の者で生活習慣病に関するレセプトのない者が多数存在する。</li> <li>・3疾患で内服治療を受けていない者で、血圧、血糖が受診勧奨基準値以上の者が多数確認された。内服治療中で血圧、血糖のコントロール不良者が多数見受けられる。</li> </ul>
健康相談案内(【実績値】8回 【目標値】平成30年度：10回 令和元年度：10回 令和2年度：10回 令和3年度：10回 令和4年度：10回 令和5年度：10回)健康に関する情報提供。早期受診の促進。												特定保健指導者減少率(【実績値】19% 【目標値】平成30年度：19% 令和元年度：19% 令和2年度：19% 令和3年度：18% 令和4年度：18% 令和5年度：18%)重症化予防。							
要再検査・要精密検査対象者への受診勧奨(【実績値】0回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：10回 令和4年度：10回 令和5年度：10回)-																			
8	既存	インフルエンザ予防接種補助金支給	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	ス	-	・事業案内の実施	・事業案内の実施	・事業案内の実施	・事業案内の実施	・事業案内の実施	・事業案内の実施	接種者を増加させ重症化予防により医療費の適正化を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
事業案内(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)-												接種者割合(【実績値】19% 【目標値】平成30年度：19% 令和元年度：19% 令和2年度：19% 令和3年度：20% 令和4年度：20% 令和5年度：20%)加入者の罹患防止と重症化回避。							
8	既存	インフルエンザ予防接種集団接種	全て	男女	18～74	被保険者、任意継続者	1	ス	-	コ、ス	-	・事業案内の実施	・事業案内の実施	・事業案内の実施	・事業案内の実施	・事業案内の実施	・事業案内の実施	接種者を増加させ重症化予防により医療費の適正化を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
事業案内(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)-												接種者割合(【実績値】26% 【目標値】平成30年度：27% 令和元年度：27% 令和2年度：28% 令和3年度：28% 令和4年度：28% 令和5年度：28%)加入者の罹患防止と重症化回避。							
8	既存	家庭常備薬斡旋	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	ス	-	・事業案内の実施	・事業案内の実施	・事業案内の実施	・事業案内の実施	・事業案内の実施	・事業案内の実施	セルフメディケーションの強化	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
実施数(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)年2回実施												定量的な設定内容ではないため。(アウトカムは設定されていません)							

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
1	既存	コラポヘルス委員会	全て	男女	18～74	被保険者	3	ス	-	ア,ス	-	事業主との個別会議	事業主との個別会議	事業主との個別会議	事業主との個別会議	事業主との個別会議	事業主との個別会議	事業主との個別会議	健診と保健指導の実施率の向上を図り、疾病予防するため事業主とともに健康状況に関する理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他健保よりも受診率が高いが被保険者・被扶養者の受診率の底上げを図る。</li> <li>・40～49歳の参加率が低い。</li> <li>・被扶養者の特定保健指導は実施していない。</li> <li>・40～44歳、55～59歳のメタボリックシンドローム該当者の減少率が低い。</li> <li>・55歳以降の特定保健指導対象者の減少率が低い。</li> <li>・当健保での疾患は循環器、呼吸器系疾患の割合が高い。特に呼吸器疾患は他の健保より高い。</li> <li>・糖尿病・高血圧・高脂血症の医療費の割合が高い。糖尿病は他の組合と比べても高い。</li> <li>・直近のデータではがんの割合が低い、従来よりがんの割合が高い。</li> <li>・40代前半は血圧・血糖値・脂質ともに高い。</li> </ul>
実施数(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)事業主との個別会議												定量的な設定内容ではないため。(アウトカムは設定されていません)								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 事業名の後に「\*」がついている事業は共同事業を指しています。

注3) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注4) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施  
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注5) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築  
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他